

## 天満屋倉敷店 2015年3月の画廊予定

### ◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
2/27(金)～3/5(木)	<p><b>倉敷堤窯 武内真木 陶展</b></p> <p>倉敷の酒津で民芸陶芸を制作されている先生の、3年ぶりの個展です。益子で最晩年の濱田庄司氏のもとで修行し、父親の晴二郎氏が築窯した堤窯を受け継いで制作されています。イギリス発祥のスリッパウェアの皿や型押しの小皿、轆轤による湯呑など、地元倉敷の土を使い、父の遺風を受け継ぎながら研鑽と努力を重ねてきた作品は、独自の飾らない美しさと力強さを感じさせてくれます。今回は花器、食器など約300点の出品予定です。ぜひご来場のうえ、お手にとってご覧くださいませ。</p>
3/6(金)～3/12(木)	<p><b>絵画工芸四人展</b></p> <p>日本画・洋画・陶芸の異なる分野の注目作家を一堂に、約100点展覧いたします。        (当川伸一)1977年生まれ。3年連続院展入選。現在、日本美術院院友。        (中村幸枝)日展会友・白日会会員。女性像を通して命を表現する。        (北大路泰嗣)1948年生まれ。北大路魯山人孫。荒川豊蔵に師事。絵付け、轆轤に非凡な才能。        (北川宏幸)1955年生まれ。天目釉と飛び鉋、櫛目を組み合わせた作品。</p>
3/13(金)～3/19(木)	<p><b>愛と郷愁のたずね人 遊・仁 作品展</b></p> <p>1944年福岡生まれ。胡粉・アクリル絵具など様々な絵具を駆使して板の上に描き、さらに金箔や銅箔を施すという特殊な技法で表現した、ミクストメディア。さらに絵に合わせて作家自ら手作りの額を制作。絵と額が一体となり、楽しさを広げた独特の絵画です。愛と郷愁が感じられる素朴な作風は、ひと時現実から離れ、ノスタルジックな世界へと誘います。約30点の出品予定です。</p>
3/20(金)～3/26(木)	<p><b>備前 森大雅 作陶展</b></p> <p>1974年備前市伊部生まれ。祖父は備前焼窯元六姓の流れを汲む森風来。2000年に祖父の窯を受け継ぎ、陶彫を木村玉舟に学ぶ。近年は1000年の歴史を誇る備前焼の魅力を海外に伝え、業界の活路を探るため、遠くフランスやアメリカで壮大なプロジェクトに挑むなど、岡山伝統文化の未来を切り開こうと奮闘されている注目作家です。今回は米・グランドキャニオンで制作した作品を含めた約120点の出品予定です。</p>
3/27(金)～4/2(木)	<p><b>岡山の書と絵画展</b></p> <p>倉敷を中心に岡山県内の郷土ゆかりの作家たちの書と絵画を、一堂に展覧いたします。        (出品予定作家)        〈書〉大原孫三郎(倉敷)、大山康晴(倉敷)、高木聖鶴(総社)、円山伝衣(岡山)など        〈画〉池田遙邨(倉敷)、上嶋鳳山(笠岡)、児島虎次郎(成羽)、佐藤一章(矢掛)など        約100点の出品予定です。</p>

営業時間 10:00～19:30

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ  
 天満屋倉敷店 販売計画  
 TEL 086-426-2205  
 FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。